



【物流施設】

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-不動産【物流施設】(2021年SDGs対応版)

v1.2.2

建物概要

建物名称	LOGILAND春日部Ⅲ	敷地面積	7,070 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	埼玉県春日部市	建築面積	4,021 m ²	評価の実施日	2024年12月12日
用途地域	地域指定外、防火指定外	延床面積	10951.59 m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	物流施設	階数	地上3F	不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2023年7月25日	構造	S造	確認日	2025年1月8日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	人	確認者	米田 拓朗
		年間使用時間	時間/年	不動産評価員番号	ふ-001471-29

評価結果

67.6 /100	合計		S ランク: ★★★★★	≥ 78
(得点	/ 満点)		A ランク: ★★★★	≥ 66
			B+ランク: ★★★	≥ 60
			B ランク: ★★	≥ 50

ポイントは小数点第1位までの表示とする

1. エネルギー／温暖化ガス

評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値
適合		根拠等	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	
	加点 1	根拠等	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値) MJ/m ² ・年
20.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	根拠等 BEIm = 0.46	一次エネルギー(計画値) MJ/m ² ・年 二次エネルギー(*) kWh/m ² ・年 CO ₂ 排出量(*) kg-CO ₂ /m ² ・年
1.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	根拠等	水道光熱費 円/m ² ・年
4.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	根拠等 (1)、(4)、(5)、(8)	導入された対策項目数 項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー	根拠等 導入なし	利用率 %
28.0	35	合計		

2. 水

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等	目標設定、モニタリング、運用管理体制	
	0	根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(目標値) L/m ² ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)	評価しない	
	0	2.2 水使用量(仕様評価)	根拠等 (1)、(2)	水使用量(計画値) L/m ² ・年
6.0	10	2.3 水使用量(実績値)	評価しない	
	0	合計		

3. 資源利用／安全

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等	新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし
	3.0	3.1 高耐震・免震等	新耐震基準に適合	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価
3.0	5	3.1.1 耐震性	建築基準法に定められた耐震性を有する	
3.0	3.0	3.1.2 免震・制震・制振性能	根拠等 導入なし	
3.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する ① 転体材料 用いていない ② 非構造材料 リサイクル資材を用いている	リサイクル材品目数(非構造材) 品目
3.0	4.0	3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない	
3.0	5	3.3 転体材料の耐用年数	3.3.1 建築基準法に定める対策が講じられている	経年数+今後の想定耐用年数 年
3.0	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔 3.4.2 設備(電力等)の自給率向上 3.4.3 維持管理 3.4.4 バリアフリー対策	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均
4.0	4.0	3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	根拠等 計算式により	更新年数の平均値 年
3.0	3.0	3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	根拠等 (1)、(3)	自給率向上の取組数 項目
2.0	2.0	3.4.3 維持管理	根拠等 (1)	維持管理に関する取組数 ポイント
3.0	3.0	3.4.4 バリアフリー対策	根拠等 バリアフリー対策の実施状況(未実施、実施済み、実施計画あり)	3 ポイント
12.5	20	合計		

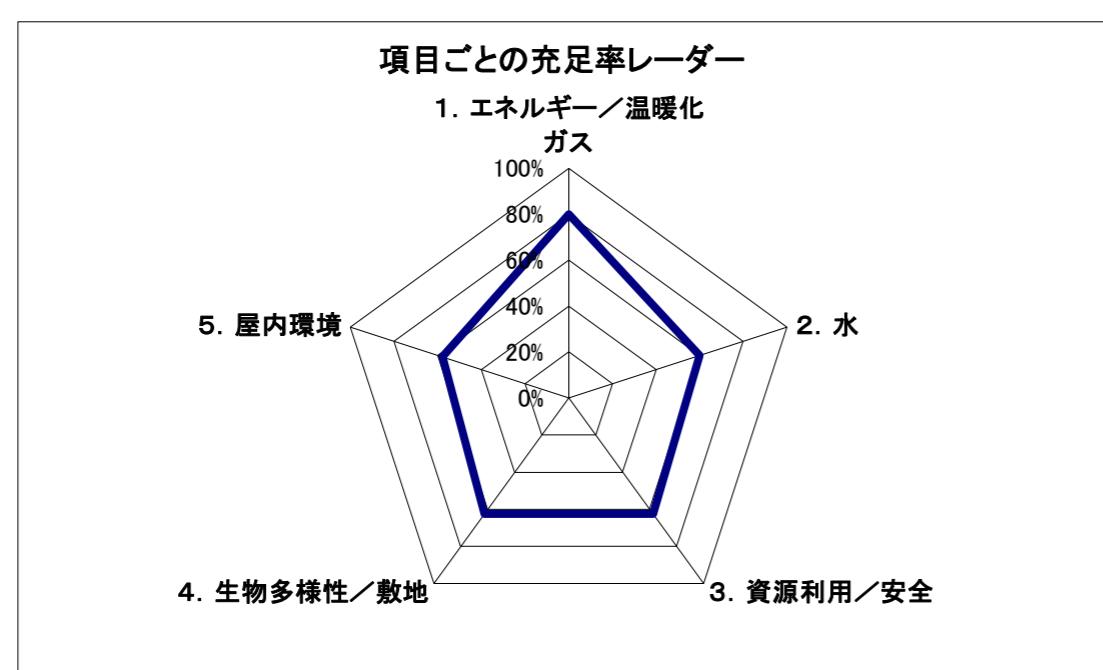
4. 生物多様性／敷地

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等	特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし
	6.0	4.1 生物多様性の向上	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない	②取組による場合のポイント数 ポイント
10	10	4.2 土壌環境品質・プラウンフィールド再生	根拠等 土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない	なし
0.0	0	4.3 公共交通機関の接近性	根拠等	
[対策不要は対象外]		4.3.1 公共交通機関の接近性	バス停:イオンモール春日部前 徒歩4分	5 分圏内
3.5	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	根拠等 (1)、(2)	取組数 項目
3.0	4.0	4.4 自然災害リスク対策	根拠等 リスクの合計数は3種、2種については有効な防災対策を実施している	リスクの合計数 種類
3.0	5			
12.5	20	合計		

5. 屋内環境

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等	建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし
	1.6	5.1 昼光利用	5.1.1 自然採光	5.1.1の点数x2/3+5.1.2の点数x1/3
1.0	5	5.1.2 昼光利用設備	根拠等 計算式参照	開口率 別紙による %
3.0	3.0	5.2 自然換気性能	根拠等 昼光利用設備がない	昼光利用設備 0 種類
3.0	5	5.3 眺望・視環境	根拠等 計算式参照	自然換気有効開口面積 別紙による m ²
4.0	5		根拠等 事務室の天井高2.8m、かつ、十分な屋外の情報を得られる窓	天井高 2.7 m以上
8.6	15	合計		

LOGILAND春日部Ⅲ



環境性能の特徴

・省エネ性(エネルギー消費・節水)が比較的高い建物である。
・新耐震基準を満たしている。
・再生材利用への配慮がなされている
・自然災害リスクが比較的少ない。
・電力等の自給率向上や公共交通機関の接近性に対する対策が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。
・バリアフリーへの対策も取られている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄